

製品名: サイクリン E2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00065**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 50 kDa

抗原情報

遺伝子名	CCNE2
別名	CCNE2; G1/S-specific cyclin-E2
遺伝子 ID	9134
SwissProt ID	O96020
免疫原	ヒトサイクリン E2 の合成ペプチド

背景

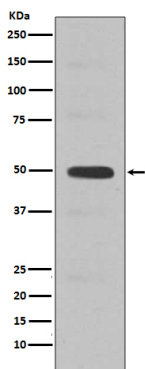
ヒトサイクリン E2 遺伝子は、サイクリン E に最も近縁な 404 アミノ酸からなるタンパク質をコードしています。サイクリン E2

mRNA レベルは G1/S 期遷移時にピークに達します。サイクリン E2 は Cdk2 と結合し、機能的キナーゼ複合体を形成します。この複合体は p27 (Kip1) と p21 (Cip1) の両方によって阻害されます。サイクリン E2/Cdk2 は in vitro でヒストン H1 をリン酸化します。G1 期サイクリン E は CDK2 を活性化することで DNA 合成の開始を制御します。ヒトの癌において、サイクリン E の異常に高い発現レベルが頻繁に観察されています。

研究分野

細胞生物学

画像データ



Cyclin E2 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の Cyclin E2 のウェスタン ブロット分析。